

令和 5 年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	29	学校名	富士宮西高等学校	校長名	新家 輝男
------	----	-----	----------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	心身の調和がとれた生徒が育つ。	遅刻・欠席・早退の各総数が前年度より減少する。	2学期末現在 R4/R5 欠席 1125/1338 遅刻 483/309 早退 297/237	B	【学務（教務）】各学年で特定生徒の長期欠席が目立った。保護者も含めて、個別に丁寧な対応をすることができた。
		「服装・頭髪・時間厳守など学校生活の規律・秩序は保たれている」と答える生徒90%以上。	94.6% (R4 84.5%)	A	【生活（生徒）】生徒各自の自覚と規範意識が向上した。職員の生活指導がしっかりとしている結果である。
		「学校生活のルールや日常生活のマナー等の指導が適切に行われている。」と答える保護者90%以上。	95.3% (R4 94.9%)	A	【生活（生徒）】職員の生徒心得に対する共通理解が向上してきた証拠である。タイミングの良い指導が実施されたと考える。
		投票に行った生徒55%以上。	47.8% (R4 77.3%)	B	【教頭】4月当初の選挙の他、早い時期の選挙が多く、選挙権がない生徒は、投票の機会に恵まれず残念であった。
		情報モラルに関する生徒指導が前年度より減少する。	R4年度/R5年度 0件/1件	A	【生活（生徒）】生徒の情報モラルが向上していると考えるのが妥当である。
		「校内の環境美化・衛生管理や健康に関する指導に取り組んでいる」と答える保護者80%以上。	91.0% (R4 90.5%)	A	【生活（保健）】目標数値は達成したが清掃日が少なくなった分1回の清掃をもっと充実させられるよう指導していきたい。感染症対策をはじめ自己管理能力を高められるような指導をしていきたい。
		個別面談を年に3回以上実施。	スクールカウンセラーによる個別面談生徒5人、保護者10人	A	【生活（相談室）】生徒だけではなく、保護者や担任・養護教諭等、その生徒を支える大人へのアドバイスもいただく機会を得た。
		「子どもは、明るく楽しく学校生活を送っている」と答える保護者	95.9% (R4 93.1%)	A	【生活（相談室）】生徒が学校での出来事を各家庭において話ができているということに感謝したい。また、ICT

様式第3号

		90%以上。			による連絡も学校のことを知るうえで効果的であった。
		いじめ対策委員会を年に2回以上開催する。	2回実施	A	【生活（相談室）】 対策の方法について学年を超えて検討することができた。
		特別支援委員会を年に2回以上開催する。	ケース会議 2回実施	A	【生活（特支コ）】 情報共有と支援の方法について検討することで、担任の負担を軽減できた。
		「学校は、子どもに関する悩みの相談に応じてくれる」と答える保護者80%以上。	84.5% (R4 86.4%)	A	【1年部】 手帳を活用しながら生徒とコミュニケーションを図り、こまめな声掛けをしてきた結果がでてきている。 【2年部】より明確な進路指導を求められる中で、新たに悩みが生まれるケースが増えた。3年に向けてよりきめ細やかな指導を心がけたい。 【3年部】目標達成はしているものの、学校全体の平均より低かった。
		「学校からの連絡・情報は家庭に伝わっている」と答える保護者80%以上。	87.5% (R4 84.4%)	A	【1年部】 ICTによる連絡により、保護者に伝わる割合は高くなったと思われるが、一方でアンケートなどでは回答率が低かった。 【2年部】修学旅行をきっかけにClassiでの連絡が浸透し、旅行中も配信する等、リアルタイムの情報伝達に努めてきた。一定数の無関心層をいかに減らすかが課題である。 【3年部】ICTによる連絡は導入していないものの他学年と変わらない高さとなった。
イ	一人ひとりの学力が向上する。	「授業に対し、おおむね充実して取り組んでいる」と答える生徒90%以上。	94.6% (R4 86.3%)	A	【学務（教務）】達成できた。今後は一台パソコンを効果的に使用するなど、さらなる向上を目指し授業改善をしていく。
		「話し合い等、主体的、能動的に活動する場を設けている授業である」と答える生徒90%以上。	89.0% (R4 80.4%)	A	【研修】教員が授業改善を行い、話し合い等の活動を取り入れたため、昨年より数値が上がった。まだ40%以上にはなっていないため、さらに研修等を行っていきたい。
		年間3回以上の授業参観を行う教員が90%以上。	96.3% (R4 80%)	A	【研修】公開授業週間や研究授業で授業参観を行い、授業改善に活かした。

様式第3号

		「学習しやすい環境にある」と答える生徒85%以上。	88.5% (R4 80.6%)	A	【学務（教務）】来年度特別教室のエアコンも使用できる。自習場所の環境をさらに整えたい。
		ICTを活用する教員100%。	100% (R4 100%)	A	【学務（ICT）】職員間連絡のロイロノート活用徹底、百問繚乱の導入が進行できた。授業で生徒に活用させる場面について、研修が必要。
		学期に1回以上、一人一台端末の活用についての研修や情報提供を行う。	研修会4回実施	A	【研修】ICTのWGの協力もあり、年に4回一人一台端末の活用について研修会を実施した。
		「先生方は、質問や相談に丁寧に応じてくれる」と答える生徒90%以上。	92.1% (R4 85.7%)	A	【学務（教務）】概ね達成できた。来年度面接週間を設定し、90%以上を目指す。
		「補講、勉強会、個別進路指導は生徒一人ひとりの目標達成に役立っていると答える保護者80%以上。	82.5% (R4 89.2%)	B	【学務（進路）】土曜補講、放課後補講、個別指導などが計画どおりに実施できた。ロイロノートやClassiの活用も試みられており、充実した指導が行われている。
		学力に関する検討会を学期に1回以上実施。	学力検討会 1年2回 2年2回 3年4回 模試分析会 全学年7回	A	【学務（進路）】3年生では4回の検討会を予定どおり実施し、他学年からの参加も得て活発な検討が行われた。1・2年生でも模試の反省の形で学力の検討が実施されている。
		家庭での生活実態調査を年3回以上実施する。	生活実態調査 3回	A	【学務（進路）】6月、11月、3月に実施できた。
		2年次の平均家庭学習時間が2時間15分以上。	6月 107.7分 11月 93.4分	B	【2年部】テストとテストのちょうど合間の調査で気が緩んでいたと思われる。3年に向けて、質と量の向上を目指す。
ウ	一人ひとりの進路目標が実現する。	教務課及び学校改革委員会「総合的な探究の時間」検討班で学期に1回以上情報共有及び検討する。	検討班会合 3回実施	A	【学務（教務）】各ワーキンググループで情報を共有することができた。
		1・2年生の生徒全員が年	3回 (R4 3回)	A	【学務（教務）】ビブリオバトルやドリームプランの時間を活

	に1回以上学習成果を発表する。			用して発表することができた。
	平均年間読書冊数9冊以上。	11.3冊 (R4 10.8冊)	A	【図書】生徒の読書量は増えている。毎日の朝読書が活用されている。
	生徒全員がビブリオバトルに参加する。	3回 (R4 3回)	A	【図書】学年ごとに実施し、3年生の2名が文化祭の校内発表で全校生徒の前で発表した。校外の大会に3名が参加した。
	20%以上の生徒が年1回以上社会貢献活動・ボランティア活動に携わる。	21.8% (R4 17.3%)	A	【生活（生徒）】富士山女子駅伝等の富士宮市内で実施される事業への参加率が向上した。
	企業・自治体・NPO等、地域との連携3件以上、地域人材等との連携5人以上。	地域との連携 9件	A	【学務（教務）】オンリーワンハイスクールを利用して、ドリームプランの時間を中心に多くの団体と連携できた。
	国公立大学及び難関私立大学合格者70名以上。	国公立大学合格者数 57人	A	【3年部】国公立推薦入試で9名、難関私大一般推薦で1名が合格。共通テスト5教科形成率が大幅に増加した。結果として国公立大学合格者数は前後期合わせて57人となり、35%に上った。
	英検2級合格者35人以上。	第1・2回計 受検者 129人 合格者 58人 第3回 受検者 65人 合格者 28人	A	【英語科】合格者は目標数値を超えることができた。英語学習の大きな目標として今後も継続していきたい。
	「適性・進路などに応じて選べる類型や選択科目がある」と答える生徒90%以上。	93.1% (R4 82.9%)	A	【学務（教務）】教員数が減る中で、現状としては精一杯の対応ができていると考える。各教科と連携して、教育課程を考えたい。
	「進路指導は、進路選択に役立つものになっている」と答える生徒85%以上。	88.5% (R4 80.8%)	A	【学務（進路）】担任の面談や、受験対策の個別指導が生徒からは高い評価を得ている。
	「進路行事や担任による個別面談等、進路指導は適切かつ効果的に	81.6% (R4 85.7%)	A	【学務（進路）】放課後、昼休みなど利用した面談が活発に行われている。今年度から実施が始まった「面談週間」も役立った。保護者の肯定

様式第3号

		行われている」と答える保護者80%以上。			的評価がR4より微減している理由については不明である。
エ	活気に溢れ、魅力ある学校になる。	「学校行事に満足している」と答える生徒85%以上。	89.0% (R4 68.8%)	A	【生活（生徒）】新型コロナウイルス感染症が、5類に降格した事で各種行事の自由度が通常に戻った事が大きい。
		「子どもは、学校行事に意欲的に参加している」と答える保護者90%以上。	95.3% (R4 94.5%)	A	【生活（生徒）】家庭内での会話の中で、学校生活に関する話題が増えたのではないかと。生徒中心での活動が増加した結果である。
		「部活動への参加により、学校生活を充実させることができる。」と答える生徒80%以上。	83.4% (R4 77.1%)	A	【生活（生徒）】各部で部長を中心とした活動が順調である証拠。
		「富士宮西高だより」の発行・配布を3回。	3回	A	【研修】年内は2回の発行になったが、今年度の3回目の中学2年生に配付するものは、来年度4月中旬に発行する予定である。
		中学校での説明会10校以上。	のべ14回	A	【副校長】職員に依頼があった学校には対応するようにしたが、生徒による説明を依頼されたとき、模試と重なり対応できないことがあった。塾などへの積極的な売り込みも必要ではないかとの声も聞かれた。
		一日体験参加者500人以上。	785人 (R4 493人)	A	【学務（教務）】中学生の満足度はかなり高かった。生徒会による学校紹介や、模擬授業の評判が特に良かった。
オ	安心・安全な学校になる。	地域防災訓練参加率65%以上。	26%	B	【総務（防災）】参加しなかった生徒の半数が、参加する意思がなかったが理由であるため、来年度以降啓発していきたい。
		校内防災訓練2回。	2回	A	【総務（防災）】9月の防災訓練はクラス単位での図上訓練であった。来年度以降も検討したい。
		年に1回以上安全教育に関する授業を「安全教育計画」に示され	計画通り実施	A	【生活（保健）】各教科、分掌において計画通りに実施された。

様式第3号

		た教科で行う。			
		教職員の不祥事件数ゼロ。	0件	A	【副校長】コンプライアンス研修の成果は出ている。
		「教育環境の面から見て、施設・設備は整備されている」と答える保護者80%以上。	86.0% (R4 83.3%)	A	【事務室】技能員による校内抵樹木の整備を計画的に実施できた。施設担当と技能員が連携し、安全点検と補修等の対応を迅速に行った。保健室と特別教室等の空調設備の更新と整備が進んだ。
		監査及び会計・物品事務指導検査における指摘件数ゼロ。	0件	A	【事務室】静岡県の条例、規則に基づいた適正な事務処理を行った。
		分掌組織のスリム化及び業務を見直し、業務の平準化を行う。	分掌再編成実施	B	【副校長】職員数から考え、必要な再編を行った。柔軟に考えられた分掌は、業務分担に繋がらなかったが、縦割りに慣れた職員からは批判的な意見もある。